

ペレット堆肥の利活用促進

農業技術振興センター農業革新支援部

【普及活動のねらい・対象】

家畜ふん尿は堆肥化处理され、畜産農家が所有するほ場で活用されています。活用しきれずに残った堆肥は耕種農家で利用されています。現状の堆肥はバラ状のため、粉塵や臭気が発生しやすいという課題がありました。そこで、取扱性の向上や臭いの低減が可能となる堆肥のペレット化の推進と、耕種農家におけるペレット堆肥の利用拡大に取り組みました。

【普及活動の内容】

県内で先進的に堆肥のペレット化に取り組むA牧場の事例調査や堆肥の分析を行いました。牧場ではペレット堆肥製造工程の確認、作業時間や作業に必要な労力、製造能力などを調査しました。

耕種農家における利用拡大を図るため、地域農業普及指導センターにおいて、ペレット堆肥を利用する水稲と野菜の展示ほを県内2か所で設置しました。展示ほではバラ堆肥とペレット堆肥の散布の作業性の比較や作物に与える影響を調査しました。散布時には実演会を開催し、耕種農家にペレット堆肥の利用を啓発しました。



写真1 ペレット堆肥製造ライン

今年度はこれらの活動結果を堆肥シンポジウムや畜産農家の研修会で報告しました。

【普及活動の成果】

事例調査や堆肥分析では、製造工程、1日当たりの製造能力、ペレット化に適する水分や、現在の製造工程における原料バラ堆肥とペレット後の製品の乾燥工程がないことなどの問題点を把握することができました。

ペレット堆肥は粉塵を発生することがなく取扱性は向上し、作業時間や農作物の生育もバラ堆肥と比較して差はありませんでした。肥料高騰という要因も相まって、牧場への堆肥に関する問い合わせは例年より増えているそうです。

今後、このような機会を増やし、畜産農家におけるペレット堆肥の生産拡大と耕種農家における利用拡大に取り組んでいきたいと考えています。

◎対象者の意見

家畜ふん尿の処理を円滑化し、増頭に取り組みたい。また、耕種農家にとってもペレット堆肥は散布しやすい良質な有機物資源だと思う。ペレット堆肥の利用拡大にさらに取り組んでほしい。(A牧場代表者)